

**製品名: MBP マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81057**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	33kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MBP
別名	MGC99675
遺伝子 ID	4155.0
SwissProt ID	P02686
免疫原	大腸菌で発現したヒト MBP の精製された組み換え断片。

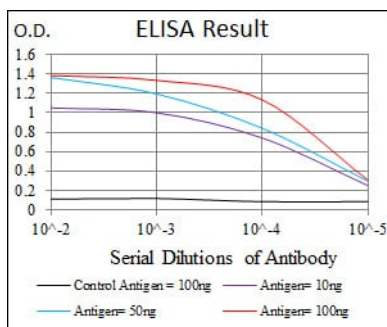
**背景**

古典的な MBP 遺伝子によってコードされるタンパク質は、神経系のオリゴデンドロサイトおよびシュワン細胞のミエリン鞘の主要構成成分です。しかし、MBP 関連転写産物は骨髄および免疫系にも存在します。これらの mRNA は、古典的な MBP エクソンの上流に

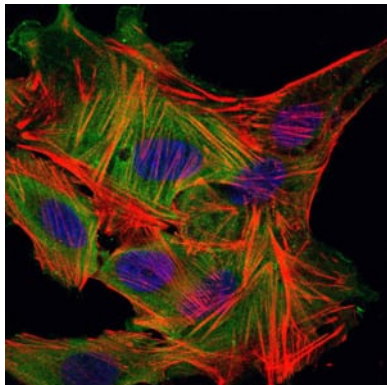
位置する3つの追加エクソンを含む長いMBP遺伝子(別名「Golli-MBP」)から生じます。GolliおよびMBP転写開始部位からの選択的スプライシングにより、2組のMBP関連転写産物および遺伝子産物が生成されます。Golli mRNAは、Golli-MBPに特有の3つのエクソンを含み、1つ以上のMBPエクソンにインフレームでスプライシングされます。これらは、N末端のGolli aa配列がMBP aa配列に連結されたハイブリッドタンパク質をコードします。2つ目の転写産物ファミリーはMBPエクソンのみを含み、よく特徴付けられたミエリン塩基性タンパク質を生成します。この複雑な遺伝子構造は種間で保存されており、MBP転写ユニットがGolli転写ユニットの不可欠な部分であり、この配置がこれらの遺伝子の機能や制御に重要であることを示唆しています。

## 研究分野

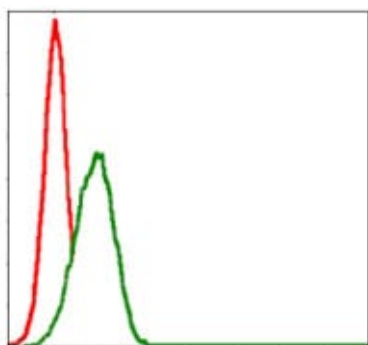
## 画像データ



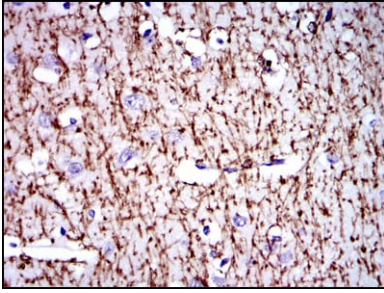
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



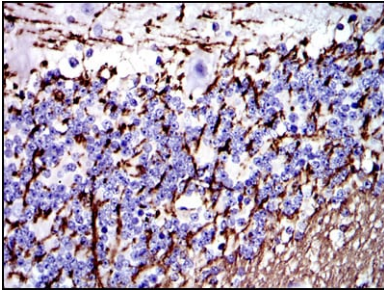
MBP マウス mAb (緑) を用いた MSCS 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MBP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



MBP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。



MBP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。